

生活交通確保維持改善計画

目的・必要性

誰にとっても安心して暮らせる地域づくりのためには、誰もが安心して移動することができる地域公共交通システムの構築が必要不可欠である。自家用車を持たない住民にとって対象路線は通学、通院、買い物等のために移動する手段であり、その維持確保が必要とされている。乗合タクシーを維持確保し、地域間交流による全市域の活性化を図り、持続可能な公共交通システムを構築することを目的とする。

確保・維持する系統の概要

【地域内フィーダー系統】

天童市予約型乗合タクシー

- ・運行事業者:天童タクシー(株)、山交ハイヤー(株)、山寺観光タクシー(株)

・系統数:7系統

・運賃:300円(路線乗合型)
500円(区域乗合型)
割引料金あり

・運行日:月～金(土、日、祝日、8/13～16、12/29～1/3は運休)



事業・実施主体

- ・地域住民に対して説明会を行い、周知及び利用促進を図る。(天童市、事業者)
- ・利用状況について集計・分析を行う。(天童市)

定量的な目標・効果

【目標】

年間輸送人員 乗合タクシー 10,900人

【効果】

- ・対象路線を維持することで、通院や通学、買い物など日常生活に必要な移動手段が確保される。
- ・地域間幹線や他の路線とを結節させることで広域的な運行体系が確保される。
- ・高齢者の外出機会増大や地域間交流の促進による地域活性化に繋がる。
- ・各地域の人口流出を防ぎ、自治会、コミュニティが維持され、空き家等による問題発生への抑止に繋がる。

基礎データ

面積:113.02平方キロメートル 人口:6万人(令和2年国勢調査)
高齢化率:33%(令和2年国勢調査)
協議会開催数:協議会3回、分科会4回(令和3年10月～令和4年9月)

前回の評価結果

令和4年度からの新規補助対象系統のため、前回事業評価なし。

評価項目

実施状況、目標・効果の達成状況

【実施状況等】運行増便による利便性向上などにより、目標を達成することが出来た系統がある。引き続き交通手段を確保していくこととしたい。継続した啓発活動により新規利用者の拡大に努め、全体の利用数は増加傾向にあるものの、目標を達成できなかった系統もある。

【実績(達成率)】

利用人数

中部線 164% 長岡線 88% 荒谷・干布線 90% 成生・蔵増区域 100% 寺津・高掬区域 73%
津山・天童原区域 85% 山口・田麦野区域 98%

収支率 108%(全系統合計)

市負担 100%(全系統合計)

〔内訳〕A:2件、B:5件

事業の今後の改善点

増便を図った多くの系統については利用者数が増加しており、引き続き利便性が高く効率的な運行を確保することが課題である。

目標を達成できなかった系統の要因としては、認知度の低さ等が考えられ、引き続き周知を図っていくことに努めていきたい。

今後、乗り方や予約の仕方の説明会開催や、時刻表の配布などの情報提供により、利用者の利用頻度向上、新規利用者の増加を目指す。

山形県(天童市)地域公共交通活性化協議会

天童市予約制乗合タクシー営業区域図面

